

## 3月17日の基準価額の下落について

2020年3月17日に基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドについてお知らせいたします。

### 【該当ファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	前営業日比騰落率
パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース (愛称：バイリンガル)	6,381	-1,457	-18.59%
パインブリッジ米国REITインカムファンド Aコース (愛称：バイリンガル)	7,458	-1,612	-17.77%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド (愛称：未来インフラ)	10,498	-1,515	-12.61%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド (3か月決算型) (愛称：未来インフラ (3か月決算型))	8,131	-1,166	-12.54%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド<為替ヘッジあり> (愛称：未来インフラ<為替ヘッジあり>)	8,536	-1,161	-11.97%
パインブリッジ・ワールド株式・オープン	4,754	-410	-7.94%
パインブリッジ米国優先REITファンド 2016-03 (為替ヘッジあり) / 単位型投信 (愛称：マンハッタン3 (為替ヘッジあり))	8,084	-651	-7.45%
パインブリッジ・キャピタル証券ファンド (為替ヘッジなし)	8,405	-566	-6.31%
パインブリッジ米国優先証券ファンド (愛称：ラストリゾート)	4,820	-312	-6.08%
パインブリッジ・キャピタル証券ファンド (為替ヘッジあり)	8,797	-569	-6.08%
パインブリッジ米国優先証券ファンド (為替ヘッジなし) (愛称：ピュアリゾート)	5,439	-321	-5.57%

### 【市場動向】

	3月13日	3月16日	13日から16日の騰落率
MSCI米国REIT指数	1,062.70	861.42	-18.94%
S&P500種株価指数	2,711.02	2,386.13	-11.98%
ダウ工業株30種平均	23,185.62	20,188.52	-12.93%
MSCIワールド指数	1,881.64	1,702.79	-9.51%

	3月16日	3月17日	16日から17日の騰落率
日経平均株価	17,002.04	17,011.53	+0.06%
TOPIX(東証株価指数)	1,236.34	1,268.46	+2.60%
円/米ドル	106.91	106.60	-0.29%

■当資料は、「3月17日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## &lt;下落の背景について&gt;

16日の米国株は再び記録的な大幅反落となりました。15日にFRB（米連邦制度準備理事会）が1%の大幅な追加利下げを発表し、主要中央銀行が市場への流動性供給などを柱とした金融緩和策を協調して打ち出しました。しかし新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による景気停滞の長期化懸念、中でもトランプ大統領がリセッション（景気後退）入りの可能性に言及したことが緩和策発表の効果を打ち消す格好となりました。昨日の下落によりS&P500の史上最高値からの下落率は30%に肉薄しました。米10年債利回りは逃避的な売り先行を背景に足元1%水準まで上昇していましたが、0.7%水準にやや低下しました。また原油は2016年以來の1バレル30ドル割れに大幅下落し、安全資産とされる金も引き続き売られました。一方、資金の逃避先とされる米ドルは大幅利下げに反して高止まりしました。足元1、2週間は米国で感染の簡易検査が導入され、同国内の感染者数の急増が市場センチメントを一層冷え込ませる可能性もありますので、しばらくはこうした乱高下する地合いが続くものと思われます。引き続き市場動向に細心の注意を払って参ります。

■当資料は、「3月17日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## 重要な注意事項：投資信託に関する留意点

お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する個々の費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面をご覧ください、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

### 【お申込みに際しての留意事項】

#### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様の投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面を必ずご覧ください。

### 【ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます】

#### ●投資信託に係る費用について

申込時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料（申込手数料） 上限3.85%（税抜3.5%）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年1.98%（税抜1.8%）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■当資料は、「3月17日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

